

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ		<input type="checkbox"/> 品質が特に優れている	<input type="checkbox"/> 品質が優れている	<input type="checkbox"/> 品質が特に良好である	<input type="checkbox"/> 品質が良好である	<input type="checkbox"/> 品質が適切である	<input type="checkbox"/> 品質が適切でなく不適合に該当する
II.品質	建築工事	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 9. その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 12. その他〔理由： 〕</p>					<p><input type="checkbox"/> 1. 品質が不適切であったため、工事請負契約書に基づく修補指示を検査員が行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他 〔 〕</p>
		<p>●判断基準</p> <p>該当項目が90%以上・・・・・・・・ a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満・・・・ a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満・・・・ b'</p> <p>該当項目が60%未満・・・・・・・・ c</p>					<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>①目的物の品質の水準を評価すること。</p> <p>②品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>③□欄には、「評価対象項目」のうち、評価出来ればレを記入し、「評価対象外項目」は-を記入する。</p> <p>④削除項目（「評価対象外項目」）のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>⑤評価値（ % ） = （評価数（ ） / 対象評価項目数（ ）） × 100</p> <p>⑥建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。</p> </div>

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ		<input type="checkbox"/> 品質が特に優れている	<input type="checkbox"/> 品質が優れている	<input type="checkbox"/> 品質が特に良好である	<input type="checkbox"/> 品質が良好である	<input type="checkbox"/> 品質が適切である	<input type="checkbox"/> 品質が適切でなく不適合に該当する
II.品質	電気設備工事 通信設備工事	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 1. 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に、工夫がある。 <input type="checkbox"/> 9. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> 12. その他〔理由： 〕					<input type="checkbox"/> 1. 品質が不適切であったため、工事請負契約書に基づく修補指示を検査員が行った。  <input type="checkbox"/> 2. その他 [ ]
		<p>●判断基準</p> 該当項目が90%以上・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・ a' 該当項目が70%以上80%未満・・・・ b 該当項目が60%以上70%未満・・・・ b' 該当項目が60%未満・・・・・・ c					①目的物の品質の水準を評価すること。 ②品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ③□欄には、「評価対象項目」のうち、評価出来ればレを記入し、「評価対象外項目」は一を記入する。 ④削除項目（「評価対象外項目」）のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ⑤評価値(%) = (評価数( ) / 対象評価項目数( )) × 100 ⑥建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ		<input type="checkbox"/> 品質が特に優れている	<input type="checkbox"/> 品質が優れている	<input type="checkbox"/> 品質が特に良好である	<input type="checkbox"/> 品質が良好である	<input type="checkbox"/> 品質が適切である	<input type="checkbox"/> 品質が適切でなく不適合に該当する
II.品質	暖冷房衛生設備工事 機械設備工事	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 1. 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に、工夫がある。 <input type="checkbox"/> 9. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> 12. その他〔理由： 〕					<input type="checkbox"/> 1. 品質が不適切であったため、工事請負契約書に基づく修補指示を検査員が行った。  <input type="checkbox"/> 2. その他 [ ]
		<p>●判断基準</p> 該当項目が90%以上・・・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・・ a' 該当項目が70%以上80%未満・・・・ b 該当項目が60%以上70%未満・・・・ b' 該当項目が60%未満・・・・・・・・ c					①目的物の品質の水準を評価すること。 ②品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ③□欄には、「評価対象項目」のうち、評価出来ればレを記入し、「評価対象外項目」は一を記入する。 ④削除項目（「評価対象外項目」）のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ⑤評価値(%) = (評価数( ) / 対象評価項目数( )) × 100 ⑥建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ  II.品質	上記以外の工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。  <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		<p><b>【評価対象項目】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p>※既様式では評価しがたい場合に適宜評価項目を設定する。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。  
 ③評価値（ % ） = 該当項目数（ ） / 対象評価項目数（ ）  
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																											
3.出来形及び出来ばえ  II.品質	多工種複合工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。  <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																																											
		<p><b>【評価対象項目】</b></p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">主たる工種</th> <th style="width:15%;">該当項目数</th> <th style="width:15%;">対象評価項目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>i) 別紙-3 ( )</td> <td>( )</td> <td>( )</td> </tr> <tr> <td>ii) 別紙-3 ( )</td> <td>( )</td> <td>( )</td> </tr> <tr> <td>iii) 別紙-3 ( )</td> <td>( )</td> <td>( )</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">合 計</td> <td>( )</td> <td>( )</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。                      ③評価値（％）＝<math>\frac{\text{合計該当項目数}(\quad)}{\text{合計対象評価項目数}(\quad)}</math>                      ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div> <p style="margin-top: 20px;">※本様式は、多工種で評定対象が重要な場合に、それぞれに該当する様式を複数選択し評価する場合に使用する。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>						主たる工種	該当項目数	対象評価項目数	i) 別紙-3 ( )	( )	( )	ii) 別紙-3 ( )	( )	( )	iii) 別紙-3 ( )	( )	( )	合 計	( )	( )			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
主たる工種	該当項目数	対象評価項目数																																																
i) 別紙-3 ( )	( )	( )																																																
ii) 別紙-3 ( )	( )	( )																																																
iii) 別紙-3 ( )	( )	( )																																																
合 計	( )	( )																																																
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																													
		50%以下	80%以下	80%を超える																																														
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																													
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																													
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																													
	60%未満	b'	c	c	c																																													